

学校規模

生徒 3 8 7 人
1 4 学級（内 特別支援 3 学級）

ICT環境

スクールチャレンジ先行実施指定校
導入Pepper 8 台
全生徒・職員にiPad貸与（H27～新見市より）



岡山県新見市立新見第一中学校

主幹教諭 藤井幸治

環境分析

アクティブラーニング導入

各教科

学習意欲の高まり



主体的で深い学びに課題

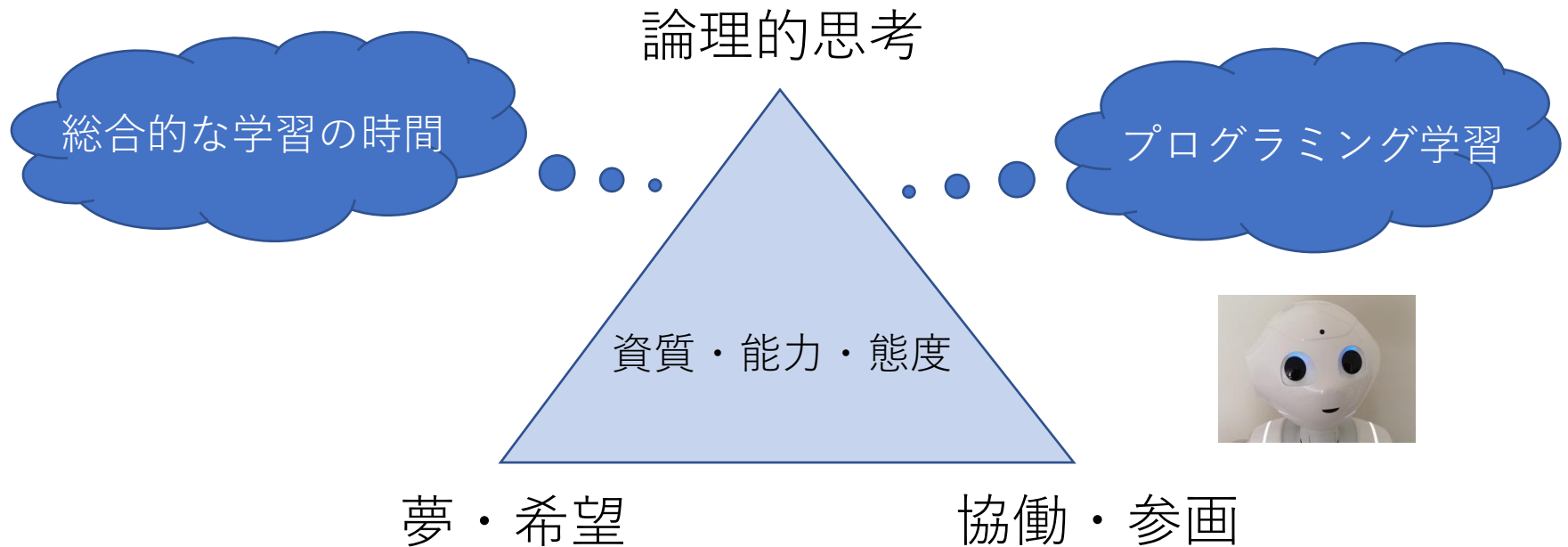
学年や学校
全体で取り組む

総合的な学習の時間への期待

目標の共有

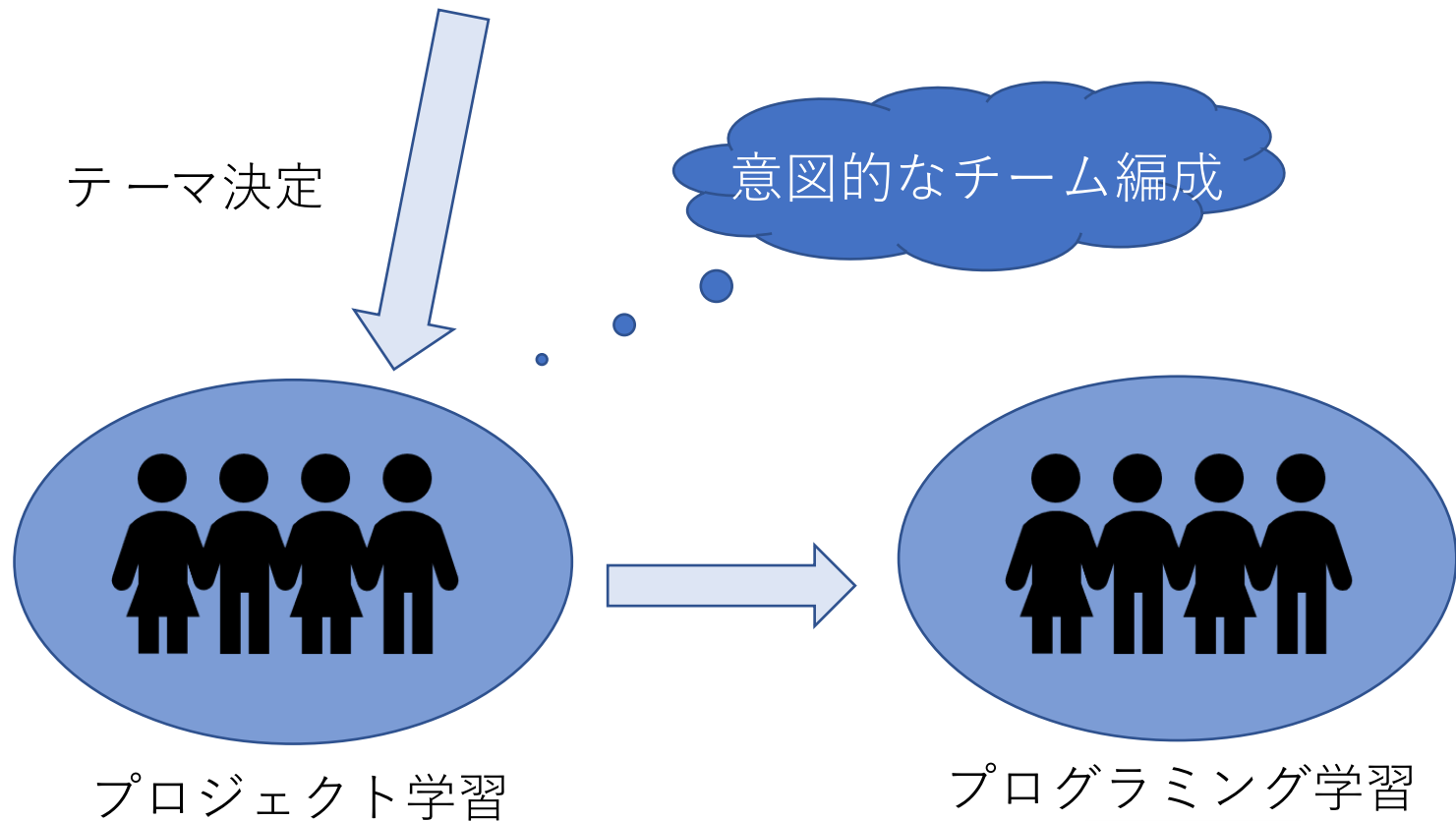
・・・自ら課題を追求し

自己の学びの良さや生き方を見つめる



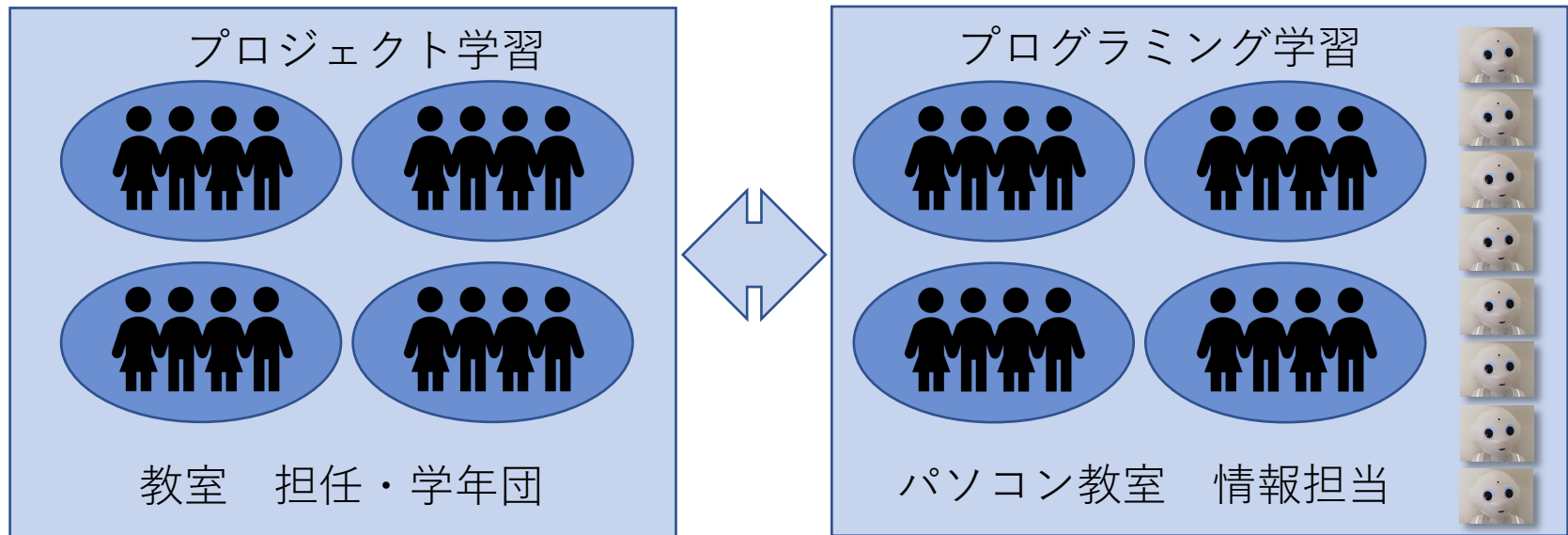
プロジェクト学習とプログラミング学習

共通の目的の達成に向けたチームによる活動



授業デザイン

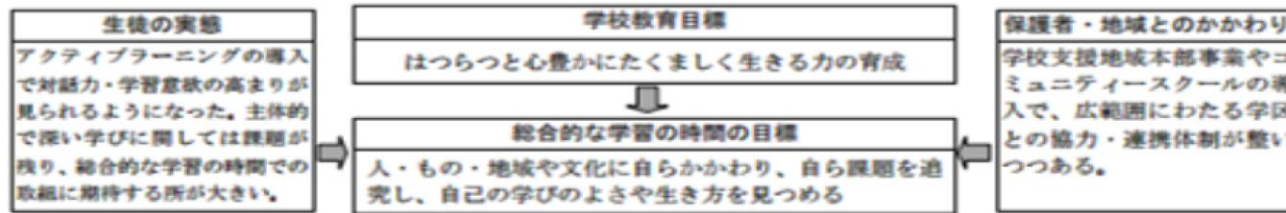
各学級を2グループに分ける



少人数にすることで学習しやすい

すべての生徒にプログラミング教育を！





育てようとする資質や能力及び態度		内 容		
学習方法		課題	学習対象	学習事項
	○興味・関心に基づく課題を見つけ、それを総合化しながら追究する。 ○相手や目的、意図に応じて、論理的に表現する。	人間・社会	○ボランティア ○命の尊さ	○ボランティア体験学習 ○広島や沖縄の訪問を通した平和学習
自分自身	○学習対象やまわりの環境に対してのかかわり方を深める。 ○自己の将来を考え夢や希望をもつ。	キャリア	○職業選択と社会貢献 ○自己との対話	○職業調べ・高校調べ ○職場体験学習 ○夢や適性と職業の選択
他者社会	○異なる意見や他者の考えを受け入れ協働して課題を解決する。 ○課題解決に向けて社会活動に参加する。	コミュニケーション	○他者とのかかわり ○将来の自分の創造	○自己分析と他者理解 ○大人へのステップ ○面接における自己表現
		地域・環境	○地域の環境や文化と生活	○地域の良さの再発見 ○民泊体験を通した他地域理解

学習活動 注：プログラミング学習は一部技術科として設定		
1年（50時間）	2年（70時間）	3年（70時間）
【人間・社会】14 ○広島平和学習を通して戦争の悲惨さと命の尊さを学ぼう。 【キャリア】20 ○職業調べを通して、自己の夢や適性と進路との関係を探ろう。 【プログラミング学習】8 ○人型ロボットの制御体験活動を通して、プログラミング的思考力を養おう。 【選択型プロジェクト】22 ○身近な生活の中からテーマを見出し、課題解決に向けて、企画・運営・評価を主体的に行なおう。	【人間・社会】14 ○広島平和学習を通して戦争の悲惨さと命の尊さを学ぼう。 【キャリア】30 ○職場体験学習を通して、働くことの意義と自己の適性を見つめ、地域で働く人の生き方を考えよう。 ○高校調べを通して、自己の夢や適性と進路との関係を探ろう。 【プログラミング学習】8 ○人型ロボットの制御体験活動を通して、プログラミング的思考力を養おう。 【選択型プロジェクト】18 ○身近な生活の中からテーマを見出し、課題解決に向けて、企画・運営・評価を主体的に行なおう。	【人間・社会】10 ○ボランティア活動を企画・運営し、社会貢献への実践力を身につけよう。 【キャリア・コミュニケーション】14 ○自己との対話や他者とのかかわりを通して、将来の自分を創造しよう。 【地域・環境】20 ○修学旅行での民泊や訪問先の体験を通して地域に根ざした文化・環境・歴史を知ろう。 【プログラミング学習】8 ○人型ロボットの制御体験活動を通して、プログラミング的思考力を養おう。 【選択型プロジェクト】18 ○身近な生活の中からテーマを見出し、課題解決に向けて企画・運営・評価を主体的に行なおう。



プログラミング学習

プロジェクト学習



【プログラミング学習】 8 時間

人型ロボットの制御体験活動を通して、
プログラミング的思考を養おう。

【プロジェクト学習】 1 8 時間

身近な生活の中からテーマを見出し、
課題解決に向けて企画・運営・評価を
主体的に行おう。



プログラミング学習

プロジェクト学習

目標	人・もの・地域や自然に自らかかわり、自ら課題を追究し、自己の学びのよさや生き方を見つめる	
学習活動 月	必須型プロジェクト学習 【人間・社会】【キャリア】【コミュニケーション】【地域・環境】	選択型プロジェクト学習 【地域・環境】
4月	修学旅行を通じた体験学習 民泊体験を中心に様々な訪問先の体験を通して、 地域に根ざした文化・環境・歴史を知ろう	
5月		
6月	プログラミング学習 基礎編 人型ロボットのプログラミングの基礎を学ぼう	課題別チーム学習 導入編 ①課題設定・チーム編成 ②目標設定 ③計画づくり ④事前調査
7月	活動の進め方 課題別のチーム決定後、学校を2つのグループに分ける。一方が課題別チーム学習を行うときは、他方はプログラミング学習を行う。課題別学習チームとプログラミング学習チームは同一メンバー。課題別チーム学習での指導者は担任と学年団。プログラミング学習の指導者は情報教育担当(藤井・白神)	
9月		
10月	プログラミング学習 応用編 テーマに沿ったプログラミングを作成し、 人型ロボットを動作させて発表会を行おう	課題別チーム学習 実践編 ⑤調査研究・実践体験 ⑥まとめ・資料作成 ⑦成果発表 ⑧振り返り・評価
11月	ボランティア体験学習 ボランティア活動を企画・運営し、社会貢献 への実践力を身につけよう	



プロジェクト学習

6 月

プログラミング学習 基礎編

人型ロボットのプログラミング
の基礎を学ぼう

課題別チーム学習 導入編

- ①課題設定・チーム編成
- ②目標設定
- ③計画づくり
- ④事前調査

7 月



10 月

プログラミング学習 応用編

テーマに沿ったプログラムを作成し
人型ロボットを動作させて発表会を
行おう

課題別チーム学習 実践編

- ⑤調査研究・実践体験
- ⑥まとめ・資料作成
- ⑦成果発表
- ⑧振り返り・評価

11 月

授業のポイント

時間の意識化

ゴールを見据える

テーマの意識化

基礎から応用・探究へ

チームの意識化

役割分担と協働

失敗体験の意識化

最善の方法の発見

学びの意識化

思考の深化

4人チームによる
協働学習が不可欠

なぜ課題設定が大切なのか

ガイダンス

学習課題の決定

5年生

た課題を附せんに記入し張っていく。

市役所は、自分たちへのきょうわのためになることを知り、その人たちを応援するため。また、将来のために役立てたいから。

地域経済の中で市役所は、どのような役割をしているか、どのような位置にいるのかを調べてきたから。また、将来に役立ちたいから。

市民のためにいろいろなことをしている人たちのことを知り、その人たちのことを応援していくため。

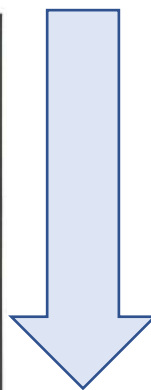
自分たちにとり、どのように影響しているのかを知りたいから。

市役所は、市民のためにどのようなきかくも予算、税金の集計をしているのだろうか。

・新見市の人口
・人口の移り変わり

経済の受え方
収入の会計の目的

新見のおこし

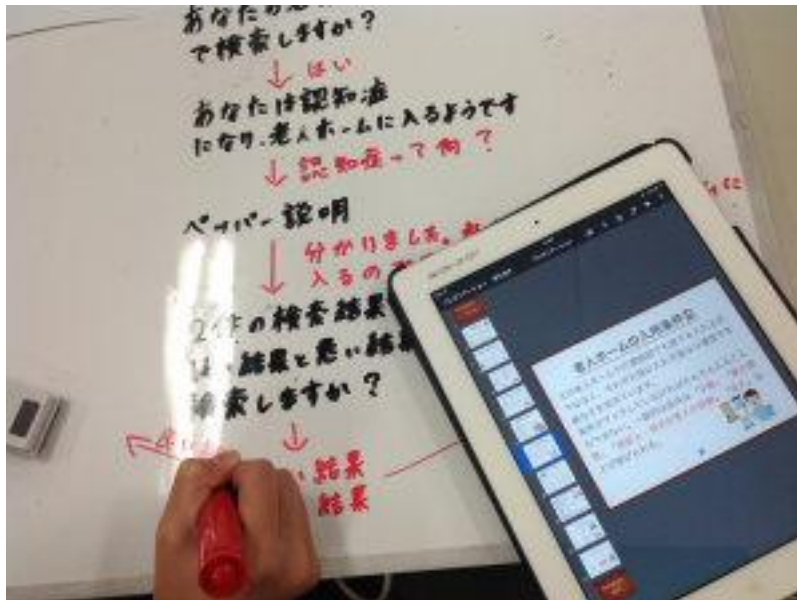


学びのイメージをつかむ

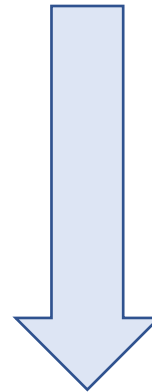
チーム編成

なぜ活用が大切なのか

目標（ゴール）を意識



基礎学習



必要な情報の取り扱い
と関連性の構築

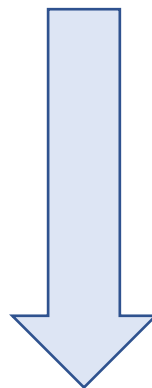
応用・探究・発表

議論の場が生まれる

なぜ将来のことを今考えるのか

10年先を予見

よりよい解決策を見出す
たくましさ



より豊かな生活の実現

新たな価値の創造

なぜ一人では社会参画できないのか

小グループ（4人）

社会参画の最小単位

学級・学年・全校

地域社会や世界へ

学びのよさの発信



成果

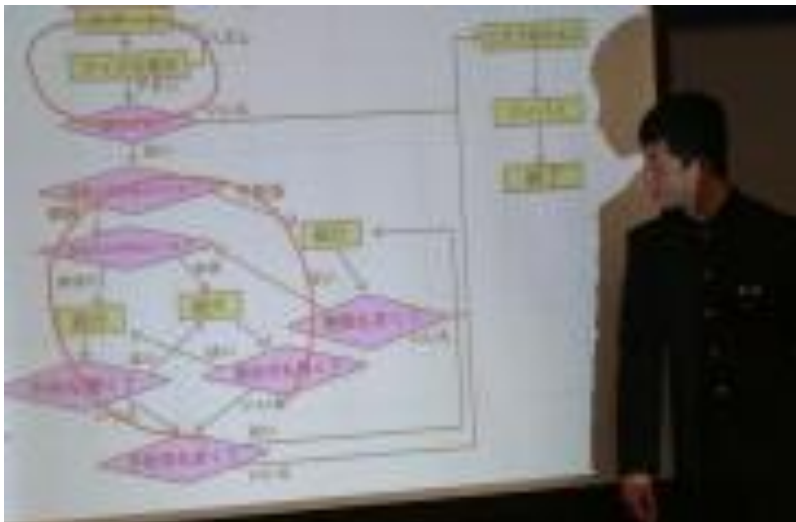
協働学習の定着

基礎編：説明 4 割 主体的活動 6 割



応用編：説明 1 割 主体的活動 9 割

思考の見える化



ホワイトボードでの情報共有
イメージマップでの思考の統合
「言葉」のつながり

プログラミング的思考の
高まりへ

今後の課題

全体での取り組み

職員：役割分担と時間の意識化

生徒：テーマ設定と学習の見通し

教育活動の見直し

既存学習の統合や廃止

時間の創出

新たな価値の創造とも
つながる

学習環境づくり

使用教室の整備

少人数での学習→予備のPepperを確保

カリキュラム・マネジメントが欠かせない

おわりに

みんなが「楽しい」と思える学校づくりをしよう

そして、新たな「夢」を追い続けよう



取り組みから一年たったの感想です・・・